

# 英語

## 指導改善ポイント②

何となく内容が伝わっているだけでよいのかなあ…。

# 正確性や一貫性を高めるためには、どのように指導すればいいの？

### もやっと

こんな悩みはありませんか？



ある程度の分量を書かせる指導を大切にしています。でも、まとまりのある文を書くことができるようになっていきません。

(生徒) My school is very nice. I play badminton. It's practice hard. But very interesting. I have many friends. They are kind, interesting and so cute. I am happy every day. [一貫性に弱さ]

子どもが書いた英作文をじっくり添削して返却するようにしていますが、なかなか正確に書けるようになっていきません。



(生徒) Track and field team is very fun. Because we can a lot of friends talking. We can run fast is sports festival. We can enjoy run. Please come to our club. [正確性に弱さ]



小学校段階で、話すことや書くことの正しさをどの程度まで求めたよいのか分かりません。

### すっきり

このような解決方法があります！

「書くこと」の言語活動を行う際には、次の3つのポイントを大切にしましょう。

#### Point 1

文章を書く前に、**誰に対して、何のために書くかを明確にして、書くための「視点」をもつことができるようにすることが大切です。**

○ 例えば、文章を書く前に相手にインタビューして、相手のことがよく分かれば、どのような内容をどのように紹介すればよいか等、書くための視点をもつことができます。

→詳しくは P.15 へ！

#### Point 2

子ども同士で英文を添削したり、エラーコレクションコードを付けて返却したりして、**子どもが自分の誤りに気付くことができる指導**を行うことが大切です。

○ 子どもに最初から完全な文章を書くことを求めるのではなく、単元を通して、表現内容の適切さや英語使用の正確さについて徐々に改善していくことができるように、子ども自身の気づきを大切にしながら指導をします。

→詳しくは P.15 へ！

#### Point 3

**中学校でより正確に表現する力を高めることができるように、小学校においても正確性につながる指導**を行うことが大切です。

○ 例えば、子どもが誤りのある英語を話した時に、その場で訂正して言い直させるのではなく、教師が意図的に正しい表現で応答することで、気づきを促す指導をします。

→詳しくは P.16 へ！

## すっきり の指導がよい理由

### 令和5年度全国学力・学習状況調査で課題が見られた問題

10	日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができる。	正答率	全国 7.5 %	県 8.4 %	自校 %
		(■解説資料 P.46~P.49 ■報告書 P.68~P.72)			

\*解答類型反応率の割合(岐阜県) [ 正確性に弱さ:約 30% 一貫性に弱さ:約 15% ]

文章を書く前に書くための「視点」を確認することで、子どもは**相手にとって役に立つ情報を書くことをより意識**するようになるからです。また、教師が子どもの誤りを常に直してフィードバックしては、**自立した学習者を育てることができない**からです。

言語は通常、人との関わりの中で用いられるため、他者を尊重し、相手に配慮しながらコミュニケーションを図ることが求められます。正確性や一貫性を高めることで、読み手に一層伝わりやすい文章になります。